

兵庫県立大学 地域ケア開発研究所 訪問記録

1. 実施日時 2025 年 9 月 25 日
2. 住所 兵庫県明石市北王子町 13 番
3. 参加者数 20 名

4. スケジュール

10 時 30 分オリエンテーション

10 時 40 分講義（災害看護・デジタルヘルス・地域住民のリアルワールドデータ分析と社会実装）

11 時 40 分骨密度測定、貧血チェック

12 時ランチタイム交流会

13 時発表準備&修正 13 時 30 発表会 14 時まとめ 14 時 30 分終了

5. 活動報告

今回の地域ケア開発研究所のラボ訪問は、2 年生の 20 人が参加した。当日は、各教授の研究について講義をいただいた後、実際に機器を操作しながら骨密度測定・貧血チェックの体験を行った。昼食時には、先生と様々な話をさせていただいた。また、事前に災害看護やこころの健康、睡眠障害、フレイルの分野についてそれぞれ課題に取り組み、当日はグループで口頭発表を行った。その後、質疑応答や先生方からのご助言をいただき、さらに理解を深めることができた。附属高校生にとって、探究の知識や自身の進路を具体的にイメージするための大変良い機会となった。

6. 生徒の感想

兵庫県立大学地域ケア開発研究所を訪問し、普段経験することのできないような貴重な体験をたくさんすることができました。私は事前課題で南海トラフ地震を想定した地域ケア体制について調べ、災害時には医療や介護だけでなく、地域の人同士の支え合いが大切だと学びました。そして発表を通して、改めて災害時の地域ケアの重要性を知ることができました。

また、実際にどのような研究をされているのかという話を聞いて、様々な視点から問題を解決しようとしているところがとても印象的で、研究が地域ケアに直結しているということを強く感じるすることができました。

他にも、患者さんだけでなくその人の生活や地域全体を考えて支援することの大切さを学び、私は将来医療に関わる仕事に就きたいと考えているのですが、地域ケアに関わるような仕事もいいなと感ずることができました。今回の経験は、進路を考えるうえでとても貴重な時間になりました。

7. 活動風景



講義の様子



貧血チェックの様子



発表の様子